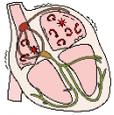




発行：山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院広報委員
〒759-4194 長門市東深川85番地 TEL0837-22-2220
FAX0837-22-6542

令和6年4月

長門総合病院 検索

ホームページ <https://www.nagato-hp.jp>

心房細動の話

循環器内科 高橋 規文



1) 心房細動とは

心房細動とは、心臓内の心房と言う部分が細かく動くことにより生じる不整脈の一種です。加齢に伴い増加する傾向があり、当地域ではよく診察する不整脈の一つです。

2) 症状・合併症

I) 不整脈症状

心房細動は絶対的不整脈とも呼ばれ、脈拍がばらばらになる事が特徴です。最も多い自覚症状は高度の頻脈によるどろきや胸痛ですが、徐脈発作で失神原因になる事もあります。

II) 心不全

心房細動症例は2割程度心機能が低下しています。また、頻脈発作を契機に心不全が悪化する症例も、特に高齢者では多く経験します。比較的稀ですが徐脈が原因で心不全となる事もあります。

III) 脳梗塞

心房細動では心房内に血流の淀みがあり、心臓内に血栓が生成されます。この血栓が一部の脳梗塞の原因になります。頻度は脳梗塞全体の2-3割程度とされています。

3) 治療

心房細動の合併症を防ぐため、主に薬物による治療が行われます。

脈拍が多い症例では抗不整脈薬や脈拍を抑える薬が使用されます。

塞栓症対策としてはいわゆる「血液がサラサラになる薬」で血栓が出来ないようにします。かつては主にワーファリンを使用していましたが、近年は食事や他薬物の影響を受けにくい経口抗凝固薬の使用が増えています。

(以下の治療は当院では行っていませんが)、徐脈症状がある症例ではペースメーカー治療が行われます。脳梗塞予防について外科手術やカテーテル治療を行う施設があります。また、色々条件がありますが、心房細動自体を治療できるカテーテルアブレーションも大学病院を始めとして行われています。

最後に

厄介な合併症の多い心房細動ですが、**早期発見・早期受診**で合併症を起こす前に対処する事が大切です。健診での心電図が最も基本ですが、心房細動は常に起こっているとは限らず、自己検脈や血圧測定時に脈拍数も意識するなどの習慣付けも大切です。一部のスマートウォッチには不整脈を検出する機能があり、助けになる可能性があります。

また、**心房細動の発症リスク**には高血圧、糖尿病、高尿酸血症、喫煙、アルコール摂取、肥満などの生活習慣に関するものも多いので、**健康的な生活習慣**を心がけましょう。